

脳を活性化させるための方法

11月12日(水)午後2時00分より、登米祝祭劇場で、当所支援団体である登米市教育研究会主催、教育講演会が市内小中学校の全教員が参加して実施された。講師には、東北大学加齢医学研究所教授 川島隆太氏を招聘し、演題を「脳科学の目指すもの」と題して、研究のデータを基に、脳神経の発達と脳を活性化するための生活習慣の大切さを話され、時の経つのも忘れて拝聴した。



講師の川島隆太教授

特に、一日のはじまりの時間である「朝」。その大切な時間を、より良い状態で迎えるには、脳の働きが重要になってくる。そのために必要なのは、朝食をとることで、和食の朝食が適切であること。

朝食を食べてきた子どもと、食べてこない子どもの差は歴然としている。また、認知機能障害の高齢者に、読み書き計算や物を作ったりすることを、継続して行った結果、機能が回復され自立した事例を説明され、年齢に拘わらず前頭前野をよく使うことの重要性を話された。

脳を活性化するための

「朝の3カ条」

- ◎「早起き」の習慣を付ける。
- ◎バランスのとれた「朝食」をとる。
- ◎毎朝欠かさず「新聞」を読む



教育講演会 聴衆者

共感することを大切に

登米市保育担当者及び児童館等指導者研修会を登米市福祉事務所と共催し、4回シリーズで開催しています。11月14日(金)中田生涯学習センターで第3回目の研修会をア



講師のあきらちゃん&ラーメンちゃん

トリエ自遊楽校あきらちゃん&ラーメンちゃんを講師に実施しました。演題を『今日も楽しくGO! ~子ども&職員間の関わり~』と題して、コミュニケーションづくりは、

共感することが大切であることを、二人遊びやラーメン体操等の実技をとおして楽しく学ぶ研修会でした。受講者は市内幼稚園、保育所、児童館、子育て支援センター等の指導者70名でした。



楽しく実技を行っている受講者

<受講者の声>

- 身体を動かしながら、さりげないトークの中に、学ばせて頂いたものが多くありました。
- 「子供たちを一度受け止めてあげることが大切」という言葉が一番心に響きました。

12月の教育相談

*当研究所専門カウンセラーを活用願います。

・教育相談日

2日(火)、9日(火)、16日(火)の3日間

・相談時間：午前9時00分～午後4時50分

・相談方法：面接、電話(予約が必要)

・予約受付：随時

・予約先、問合せ先：市教育研究所Tel22-8029